

大和市少年消防団

KANAGAWA Y.B.F.C.

団通信
第27号



令和3年1月発行

新型コロナウイルスの感染拡大により、外出が制限されるなど不自由な生活が続いていますね。大和市では、1月26日までに1220人もの感染者が発生しました。

新型コロナウイルスは、感染力が強くなった変異種が発見されるなど、まだまだ分かっていないことがたくさんあります。

「感染をしない・させない」ためにこれからも感染予防対策を続けましょう。



ウイルスはどれくらいの大きさ？



さまざまな病気の原因となる「ウイルス」。

新型コロナウイルスは、たくさんの種類があるウイルスの中のひとつです。では、ウイルスを見たことがある人～？・・・いませんね。

それもそのはず、ウイルスは目に見えないくらい小さいのです。

ウイルスの大きさは、1mmの10万分の1くらいです。髪の毛の太さは、10分の1ミリくらいですので、ウイルスを1万個並べると髪の毛と大体同じ太さになります。

感染しても症状が出ない期間がある！



新型コロナウイルス感染症は、感染しても1～14日間は症状が出ない期間があります。また、感染していても症状が出ない人もいます。

症状がないからといって感染していない訳ではありません。

「ひまつ」と「ひまつかんせん」



飛沫（ひまつ）：話すときや、咳・くしゃみをするときに
口や鼻から出てしまう霧状のつばのこと

飛沫感染（ひまつかんせん）：感染者の飛沫によって
近くにいる人が感染すること



何でできているマスクをしていますか？



ふしよくふ
不織布マスク



布マスク
(ポリエステルなど)



布マスク
(綿)

マスクの効果はどれくらい？



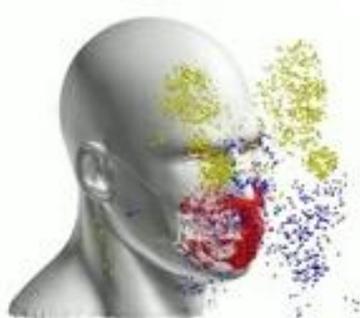
下の図は、咳をしたときに、マスクと鼻・頬の隙間からもれる飛沫の量 (●)、マスクや顔に付着する飛沫の量 (●)、マスクを通過する飛沫の量 (●) をシミュレーションした結果です。マスクによって、飛沫の量に違いがあることがわかります。

マスクの効果

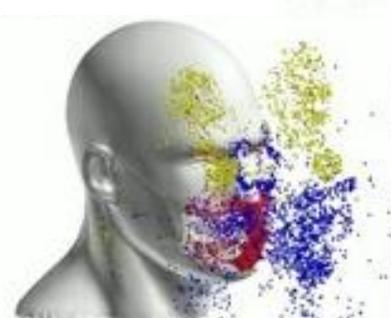
不織布マスク



手作りマスク布マスク(ポリエステル相当)



手作りマスク布マスク(綿相当)



引用元：坪倉誠（理化学研究所 神戸大学／教授）「室内環境におけるウイルス飛沫感染の予測とその対策」

ふしよくふ 不織布マスク	布マスク (ポリエステルなど)	布マスク (綿)
フィルター性能が一番高い！その分、マスクのすきまから飛沫が出やすい。	マスクを通り抜けてしまう飛沫の量が、不織布マスクより多い！	マスクを通り抜けてしまう飛沫の量が一番多い！その分、すきまから出にくい。

このデータを発表した研究所によると、「不織布マスク」では約 80%、「手作りマスク」では約 70%の飛沫を防ぐことができることが明らかとなりました。

特に、「不織布マスク」はフィルター性能が高く、大きな飛沫はほとんど通り抜けませんでした。

このように、**マスクは素材に関わらず約 7 割の飛沫を防げる**ので、新型コロナウイルスの対策に有効だそうです。

マスクをつけるときに気を付けること

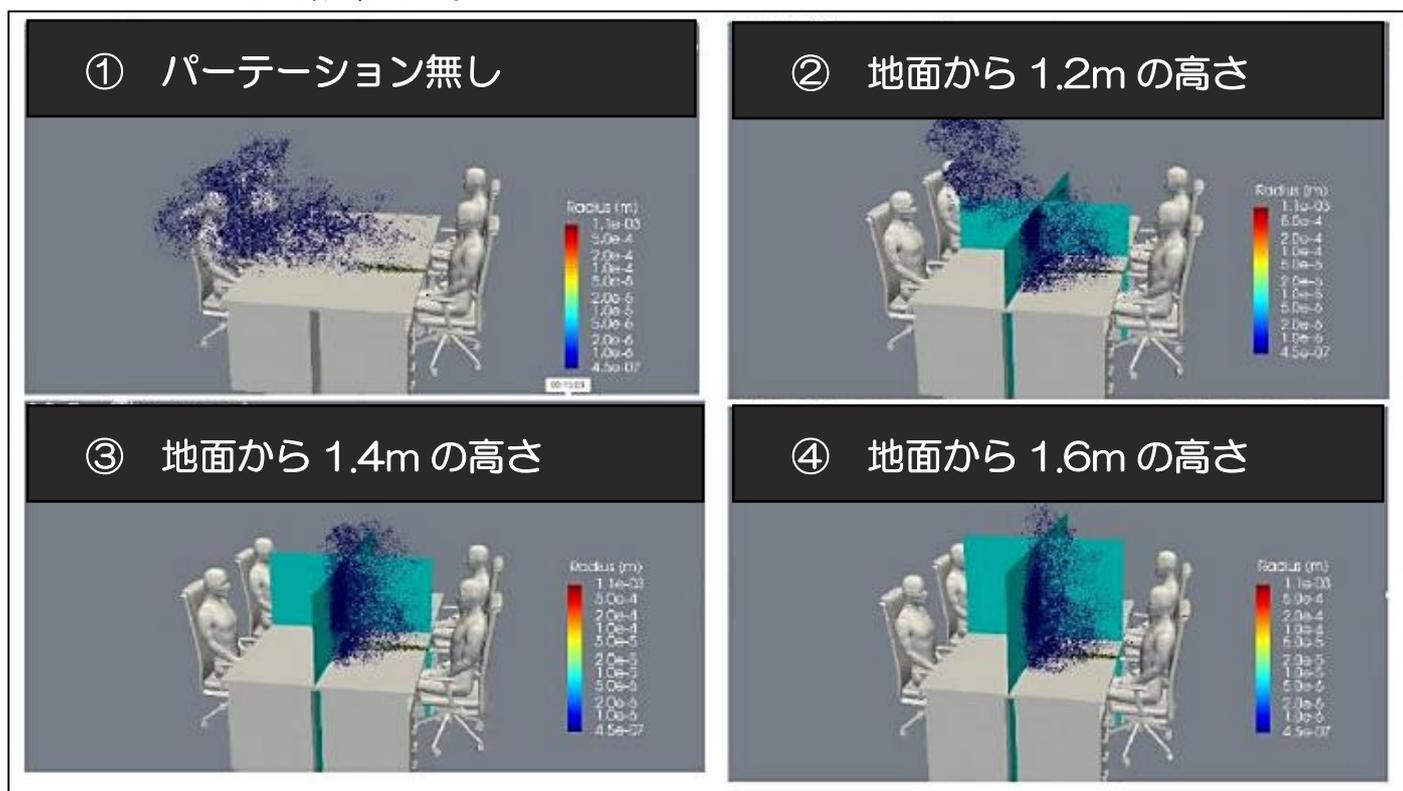


- ・学校などで遊んでいるとき、苦しいからといってマスクを外してしまうと、自分の飛沫をまわりに飛ばしてしまいます(図の●●●全部飛ぶ!)。熱中症などの心配がないときは、マスクを正しくつけるようにしましょう。
- ・マスクにはたくさんの飛沫がくっついている(図の●)ので、体育などでやむを得ず取り外したときには、マスク入れ等にきちんとしまいましょう。
- ・不織布マスクはフィルター性能が高い分、鼻とマスクの間から飛沫(図の●)が出やすいです。マスクをしっかりと鼻に密着させることが大切です。

パーティションって役に立つの？

みなさんの学校では、一人ひとりの机に透明な板(パーティション)が取付けられていると思います。パーティションも、飛沫を防ぐために必要な道具です。

下の図は、パーティションの高さによって、周りの人にどのくらい飛沫するかをシミュレーションした結果です。



引用元：坪倉誠(理化学研究所 神戸大学/教授)「室内環境におけるウイルス飛沫感染の予測とその対策」

このように、パーティションがあることで、周りに座っている人への飛沫を防ぐことができます。また、パーティションの高さが高いほど飛沫を防止する効果も大きいことがわかります。

学校の休み時間に友だちと会話するときは、できるだけパーティションを挟んで話しましょう。

感染予防をがんばろう！

今、世界中で新型コロナウイルス感染症の感染防止対策が話し合われています。新型コロナウイルス感染症の特効薬や、体に新型コロナウイルスへの抵抗力を作るワクチンなどが開発され、近い将来、撲滅できる時が来るかもしれません。今は、感染を拡大させないように、みんなで感染予防をがんばりましょう!!

